町民歴史講座

３月21日㊊㊗、湯浅えき蔵にて、東京大学史料編纂所（へんさんじょ）　保谷（ほうや）教授による講座、「菊池海荘と菊池（垣内）家」を開催しました。

講演では、史料の調査を行った保谷教授による史料群の紹介や、菊池海荘（きくちかいそう）や菊池（垣内）家の活躍についてご講演いただきました。

また、幕末から明治にかけて活躍した偉人である菊池海荘のご子孫の方々より貴重な史料の寄附を受けました。寄附を受けた史料の一部を会議室にて展示しました。

菊池海荘（きくちかいそう）とは

菊池（垣内）家は、九州の武士の末裔であった菊池武行が栖原に移住し、江戸時代のはじめに漁業で房総半島に出て、やがて干鰯問屋（本家・垣内太郎兵衛家）、薬種商・砂糖問屋（新家・垣内孫左衛門家）を江戸で営む豪商となった家です。

新家に出た菊池海荘（１７９９～１８８１）は、外国船が迫り揺れ動く世間の中で、海防の重要性を紀州藩や朝廷に訴え、有田地方の沿岸部で農兵隊を組織したり、青少年の育成にあたったりと奔走した人物です。日本の幕末の地方を考えるうえで、菊池海荘は重要な人物であると言えます。

菊池海荘木彫

次回開催のおしらせ

参加無料

- **日程**　４月23日㊏　14：30～
- **場所**　湯浅えき蔵　地域交流センター
- **演題**　「湯浅の漁網 ～松宮家文書からみえるもの～」
- **講師**　神奈川大学 日本常民文化研究所　越智（おち） 信也（しんや） 氏
- **内容**　かつて湯浅の主要産業であった「製網業」を営んでいた松宮家の古文書資料群が確認されました。資料の調査にあたった越智氏より、松宮家文書からみえる湯浅の製網についてご講演いただきます。
- **定員**　先着 １００名
  当日の混雑を防止するため、事前申込を受付します。ご希望の方は、電話もしくは下記窓口にてお申込みください。
- **問合せ申込先**　湯浅町教育委員会 歴史文化財係（17番窓口）　☎６４－１１２８